

## 黒埼南ふれあい協議会ニュース

第8号

## ふれあいかわら版

## 期待膨らむ！みどりと森の運動公園

去る4月17日(金)に黒埼南小学校ランチルームにおいて、新潟市が仮称、「みどりと森の運動公園」(12.8ha)に関する説明会を催しました。当日は約60人の地元関係者が熱心に耳を傾けていました。その概要をお知らせいたします。

説明会では、新潟市の西区建設課長の挨拶に続いて、整備計画立案の経緯について、西部地域土木事務所維持管理課などの担当課並びに設計者から概要の解説がありました。



最初に西部地域土木事務所の担当者から、仮称「みどりと森の運動公園」の設計に反映させるために行ったアンケート調査(昨年11~12月)の集計結果の報告と解析がありました。

健康維持のための運動に対しては、「特別何もしない」が25%、「家庭園芸や庭の手入れなど」17%、「ウォーキング・ジョギング」13%、「行楽地へ出かける」、「子どもと孫と遊ぶ」各10%の結果でした。

休日や余暇の過ごし方に対しては、「ショッピング・外食など」19%、「読書・テレビ・音楽鑑賞など」18%、「家庭園芸・日曜大工・家事など」13%、「行楽地へ出かける」10%の結果でした。

誰と一緒に運動や休日の余暇を過ごすかに対しては、「夫婦で」24%、「ひとり」22%、「友人と」18%、「家族と」15%、「子どもと」13%の結果でした。

また、憩いの場所などで、気に入っている点に対しては、「緑や花がきれい自然豊か」19%、「車で行ける」13%、「静かでのんびりできる」12%の順で、以下は「広々とした空間」「ベンチ・東屋など休憩施設」の他にも

多数の回答がありました。

新しくできる「みどりの森の運動公園」に期待することとして、「木陰・芝生で憩う」16%、「遊技広場で子どもと孫と遊ぶ」、「ベンチ・東屋で憩う」各13%、「木や花・田園風景を眺める」、「花見・祭り等のイベント」各12%、「体操・各種運動」10%、「ピクニック」9%といった内容でした。

そして、「みどりの森の運動公園」のイメージとして、「木々が茂り、芝生広場がある、自然に親しめる公園」17%、「ベンチ、屋根付き休憩所が配置された、人が集える公園」、「静かで落ち着いた雰囲気の中でのんびり休める公園」各13%、「子どもが遊べる様々な遊具のある公園」12%、「災害時に避難場所として利用できる公園」11%、「多目的に利用できる自由広場のある公園」10%、「様々な運動ができる公園」9%といった順位でした。

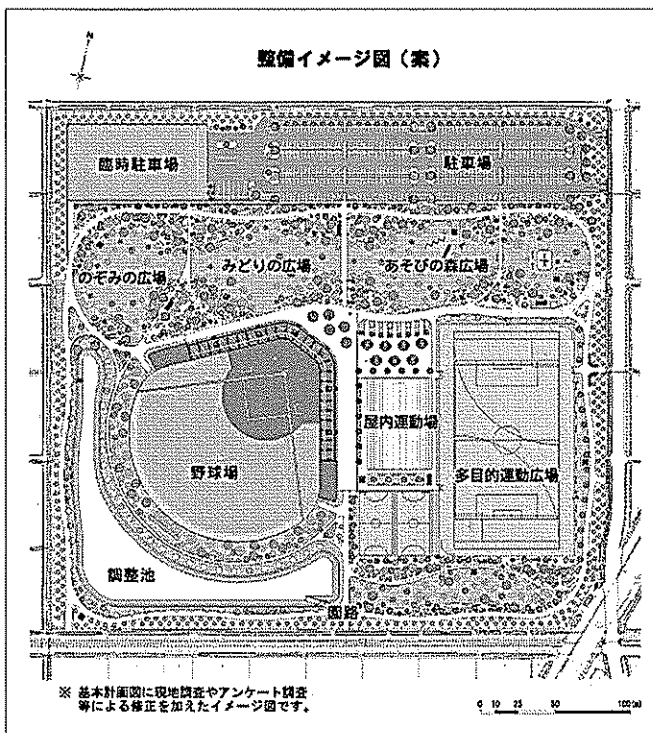
以上のアンケート結果に基づいて整備イメージ(図参照)を構想したとして具体的な内容の説明がありました。

- あそびの森広場：季節感のある樹林に囲まれた広場、遊具やアスレチックなどを配置
- みどりの広場：季節感のある樹林に囲まれた憩いの広場
- のぞみの広場：季節感のある樹林に囲まれた広場から弥彦山や角田山、田園風景が望める
- 屋内運動場：フットサル、テニス、ゲートボール等に対応
- 多目的運動広場：大グラウンド・小グラウンドを設け色々なスポーツに対応
- 野球場：観客席3千席、両翼98m、中翼120m
- 園路：園路沿いに季節感のある樹木を植栽、ウォーキングやジョギングができます。
- 駐車場：駐車可能台数600台
- 緑地広場：野球大会などのイベント時には駐車場となります。

質疑応答

- Q：新潟交通電鉄跡地の自転車道との接続を考えて建設効果を高めて欲しい。
- A：（そこまでの考えはないが、）黒埼南小学校脇の歩道に接続できるよう歩道の整備を考えている。
- Q：県立の野球場と小針球場と南区の野球場との役割分担はどうなるのか。
- A：県立球場は3万人収容の公式野球場、みどりと森の運動公園内の野球場は高校野球とBCリーグを考えた公式野球場、小針球場は軟式野球等で主に少年野球場、南区の野球場は楽しむことを目的にしている。
- Q：調整池の雨水が汚れないよう環境面を考慮して欲しい。
- A：調整池は大雨で周辺農地に被害を及ぼさないことを目的にしている。普段は空となるよう設計している。

なお、設計が具体化した段階で、別途、工事説明会の中で意見を求めたい旨の附言がありました。



### 義と愛の心でつなぐ春の道

去る4月9日(木)に黒埼南小学校児童玄関前において、新潟西警察署、新潟市交通指導隊西隊、西区役所総務課安心・安全係交通指導員、新潟西交通安全協会の関係者が新1年生23人を対象にして交通教室下校指導を行いました。その概要をお知らせいたします。

下校指導では、武田利秋新潟西交通安全協会黒埼南支部長の挨拶に続いて、西区役所総務課安心・安全係の優しい女性交通指導員と新潟西警察署の交通指導担当の警察官らが分かりやすい丁寧な口調でピッカピッカの新1年生に語りかけの指導を行いました。

この語りかけに、新1年生は「は～い」という大きな声で応えておりました。最初は不審者に対するの注意を『いかのおすし』になぞらえて、さし絵を使用して身振り手振りで分かりやすく指導されました。

- いか=(知らない人について)いかない
- の=(知らない人の車に)のらない
- お=(「助けて!」)とおおきな声で叫ぶ
- す=(人がいるところに)すぐ逃げる
- し=(何があったか、家の人などに)しらせる

子どもに絡む嫌な事件が全国的に続いておりますので、ご家庭でも子どもに対する防犯の意識を高めて欲しいものです。

さらに、道路標識とマークを示して横断歩道での横断指導(止まる-見る-待つ時は一歩下がる、そして、自分の目、耳で安全を確認してから横断する)も行いました。

また、新1年生担任の教員とともに新潟西交通安全協会の関係者らが、帰路に付く新1年生に随伴して歩行指導を行いました。

